

○令和7年 1月

歴史文化漂う前高森地域の安心・安全で住みやすいまちづくりをめざして

ご家族含めた自治会会員の方々が、安心・安全で住みやすい地域づくりを目指し、昼夜の防犯パトロールや公園清掃など積極的に活動を推進しています。

今回は令和6年度中に実施した安全対策について報告いたします。

- 八丈広場にある柘植の木が大きく成長し、そこに葛のツタが覆いかぶさり、近隣住宅まで伸びたため、市役所道路整備に依頼し整備していただきました。

昔、八丈広場は大山詣りで賑わう大山街道に隣接し、柘植の木の下には柘植地蔵が祀られていましたが、現在の住宅地開発（成二区画整理事業）時寿経寺に移設し、現在は柘植の木のみ残っています。



前 → 後



- 前高森自治会館に設置されていた吊鐘（半鐘）を、落下による危険回避のため伊勢原市消防署に依頼し、昨年12月25日に撤去しました。

この吊鐘に刻印されている内容から、江戸時代の正徳元年（1711年）徳川家宣将軍時代に、現在の寿経寺に奉納されています。

その後時期は不明ですが、火事や空襲を市民に知らせる半鐘として活用するため、当時の前高森八幡神社付近に移設されていました。

防災無線による緊急放送の開始と共に半鐘としての役目は終わっていました。

尚、吊鐘は今年1月20日（月）80年の時を経て寿経寺に返還致しました。

鋳工師は小沼藩磨大塚作 重量：21kg 高さ：52cm 直径：30cm

